



第72巻 (2023年) 定価(本体 2,900 円+税)

- 11月号 (No.11) 特集「胎盤の科学がもたらす周産期疾患の新たな理解」
 11月臨時増刊号 (No.12) 特集「婦人科悪性腫瘍手術—トラブルシューティングとその予防法—」 定価(本体 8,500 円+税)
 12月号 (No.13) 特集「動画で理解する婦人科悪性腫瘍手術の外科解剖—腔の展開と切断ラインの決定—」

第73巻 (2024年) 定価(本体 3,000 円+税)

- 1月号 (No.1) 特集「産婦人科医必携 最新の細菌・真菌感染症に対する薬の使い方と留意点Ⅰ」
 2月号 (No.2) 特集「産婦人科医必携 最新の細菌・真菌感染症に対する薬の使い方と留意点Ⅱ」
 3月号 (No.3) 特集「帝王切開のネガティブ・インパクトの克服と新たな取り組み」
 4月号 (No.4) 特集「世界の潮流についていこう！ 婦人科がん診療 2024」
 5月号 (No.5) 特集「産婦人科医が知っておきたいプレコンセプションケアの最前線Ⅰ」
 6月号 (No.6) 特集「産婦人科医が知っておきたいプレコンセプションケアの最前線Ⅱ」
 7月号 (No.7) 特集「産婦人科医が知っておくべき新生児マスキング」
 8月号 (No.8) 特集「産婦人科領域における情報リテラシー—ビッグデータとバイオイノベーションの活用」
 9月号 (No.9) 特集「婦人科がん治療における下肢リンパ浮腫—センチネルリンパ節生検の保険適用はなぜ必要なのか」
 10月号 (No.10) 特集「多職種連携による婦人科がん治療の実践」
 11月臨時増刊号 (No.11) 特集「フローチャートでわかる婦人科外来診療パーフェクトブック」 定価(本体 8,500 円+税)
 11月号 (No.12) 特集「がんサバイバーにおける女性医学—産婦人科医にできること」
 12月号 (No.13) 特集「動画で学ぶ！ 次世代へつなぐ婦人科ロボット支援手術」

第74巻 (2025年) 定価(本体 3,000 円+税)

- 1月号 (No.1) 特集「産婦人科にかかわる医用技術の新たな進歩Ⅰ」
 2月号 (No.2) 特集「産婦人科にかかわる医用技術の新たな進歩Ⅱ」
 3月号 (No.3) 特集「産婦人科医が知っておくべき疼痛管理のコツ」
 4月号 (No.4) 特集「エビデンスと経験が紡ぐ未来の産科診療—科学的探究がもたらす新たな視点」
 5月号 (No.5) 特集「発展する子宮鏡Ⅰ—レゼクトスコープ手術の神髄」
 6月号 (No.6) 特集「発展する子宮鏡Ⅱ—診断から治療、そしてオフィス手術へ」
 7月号 (No.7) 特集「「ADC時代」の到来—チソツマブ ベドチン、そしてその先へ」
 8月号 (No.8) 特集「産婦人科医が知っておきたい女性アスリートの生涯サポート」
 9月号 (No.9) 特集「産婦人科の未来予想図—これから必要な技術、資格について」
 10月号 (No.10) 特集「子宮頸がん予防の最前線」
 11月号 (No.11) 特集「産婦人科医が担うべき産道裂傷の包括的ケア—女性のQOLを守るために」
 11月臨時増刊号 (No.12) 特集「CQ & 図解で学ぶ生殖医療の基礎講座」
 12月号 (No.13) 特集「CQで読み解くホルモン補充療法のベストプラクティス 2025」

第75巻 (2026年) 定価(本体 3,100 円+税)

- 1月号 (No.1) 特集「産婦人科医療の偏在化にどう立ち向かうか？—持続可能な医療体制を目指して」
 2月号 (No.2) 特集「ここまでできる！ 産婦人科外来での排尿障害診療」
 3月号 (No.3) 特集「肥満と産婦人科疾患—最新知見と実践アプローチ」
 4月号 (No.4) 特集「卵巣がん手術—R0を目指して」
 5月号 (No.5) 特集「AIとデジタルが作り出す産婦人科医療—胎児・母体・生殖・婦人科腫瘍・ヘルスケアへの応用」

▼ご注文は下記へご連絡ください

金原出版株・営業部

TEL : 03-3811-7184 FAX : 03-3813-0288

ホームページからもご購入いただけます

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>